



令和5年4月10日  
一般社団法人 家畜改良事業団

「ゲノミック育種価を活用した合理的な肉用牛生産体系」についての  
リーフレットを作成しました

家畜改良事業団は、「ゲノミック育種価を活用した合理的な肉用牛生産体系」に取り組んだ実証事例を掲載した2種類のリーフレットを作成しましたのでお知らせします。

当団は日本中央競馬会の畜産振興事業として「肉用牛の高度生産体系確立・普及事業」を令和2年度から3年間実施し、ゲノミック育種価を活用することで、肉用牛の効率的な優良雌牛群の整備・バランスが良く斉一性の高い肥育素牛生産・輸入牛肉との差別化ができる交雑種牛肉生産等が可能であることを協力農家等で実証いたしました。

【作成したリーフレット】

○ゲノミック育種価活用による望ましい遺伝的特性を有する肥育素牛生産

繁殖牛のゲノミック育種価を見て、その特徴を捉えて枝肉重量もしくはBMSを改良しつつオレイン酸割合が高まるよう、期待育種価が一定以上になる種雄牛を選択して交配することで、目的に応じた肥育素牛の生産が可能となることを実証しました。

このことにより、枝肉量（肉質）と脂肪酸組成の安定した牛肉生産が期待できます。

○脂肪酸組成ゲノミック育種価を活用した輸入牛肉との差別化ができる交雑種牛肉の生産

交雑種生産において、脂肪酸組成のゲノミック育種価が高い種雄牛を選択して交配することで、黒毛和種並みの不飽和脂肪酸割合となる交雑種牛肉の生産が可能となることを実証しました。

このことにより、輸入牛肉との差別化、交雑種牛肉のブランド化が期待できます。

本リーフレットは、農協など指導・普及機関を中心に配布を行っておりますが、必要な方は当団の担当に問合せをお願いします。なお、当団ホームページでもご覧いただくことができます。

家畜改良事業団ホームページ

黒毛和種種雄牛>ゲノミック育種価（在胎期間含む）>リーフレット

<http://liai.lin.gr.jp/index.php/detail/data/m/7518158913>

＜本件に関するお問い合わせ先＞

一般社団法人家畜改良事業団

東京都江東区冬木 11-17 イマビル 17F

担当部： 事業部

小園 勇輔（こぞの ゆうすけ）

吉ざわ 努（よしざわ つとむ）

TEL： 03-5621-8912

FAX： 03-5621-8917